



Sea Turtle Ecology Lab

ネイチャーポジティブ宣言

ウミガメの祖先は約1億3千500万年前に誕生し、地球規模の環境変動をいくつも乗り越え、今では海洋生態系に欠かせない存在となっています。

砂浜で生まれた稚ガメは広大な海へと泳ぎ出し、海流や地磁気などの地球環境の影響を受けながら、生まれた砂浜へ戻って産卵します。けれども、この回遊に必要な能力をいかに獲得し、どこでどのように成長して故郷へ戻ってくるのか、彼らの基礎的な生態の多くは、いまだ謎に包まれています。

ウミガメはわたしたち日本人にもなじみのある存在ですが、かつて日本の海岸でよく見られたアカウミガメは激減し、世界中のウミガメもすべての種で絶滅が危惧されています。

そのため、これまでに国内外で多くの保護活動が行われてきましたが、その活動は必ずしも保護に貢献しているとはいえず、むしろ絶滅寸前にまで追い込まれている場合もあります。

なぜでしょうか？

当団体は、ウミガメの絶滅を阻止するには、彼らの基礎的な生態、そして彼らを取り巻く環境を科学的に解明していくことが必要だと考えます。

そのために、当団体は国内外の研究者や団体、そして企業や一般の人々と協力し、現場での調査を基に、ウミガメを多様な視点から科学的に捉え、「ウミガメ学（Sea Turtle-ology）」を創造します。

それはウミガメと人との関係を根本から問い直すもので、ウミガメを絶滅から救い、そしてまた後戻りすることのない生態系の回復や生物多様性の保全に貢献します。

2025年3月21日

特定非営利活動法人 Sea Turtle Ecology Lab (STEL)

理事長 菅沼 弘行